

2021年2月10日(水)

祈禱会の皆様、

おはようございます！（夜の祈禱会の皆様、こんばんは！）祈禱会の時間です！

【テーマ】「知恵ある妻について」

【聖書のみ言葉】箴言31:10-31を読みましょう。今朝が箴言の学びの最後となります。

【解説】

この箴言はアクロスティックとして構成されています（ヘブル語のアルファベットの順番で並べられています）。

序：知恵ある妻の価値（10-12）：知恵ある妻は、一般的な表現で言うなら真珠よりもはるかに価値が尊く（10）、彼女の夫にとって尊い存在（11-12）。

体：知恵ある妻の活動（13-27）：彼女は家族のために献身的に働き（13-19）、社会の人々のために貢献する（20-27）。

結：知恵ある妻への誉（28-31）：その結果、知恵ある妻は家族や（28-29）社会の人々から（30-31）賞賛を得る。「主を恐れる」ことが（30）彼女の献身に表れるから。

箴言31章は、知恵を妻で擬人化して描いているのではなく、知恵ある妻を理想像として描いています。更には、家族や人々のために「献身する妻」というよりは、むしろ、家族や人々のための「妻の献身」について記されています。主を恐れる知恵が、その人の「献身」に表されるのです。

この「献身」を、主イエスは十字架において完全に表されました。主は人々のために十字架の上でご自身の命を献げてくださいました（エペソ5:2）。だからこそ、主の愛を知った人は主の愛をもって互いに仕え合うように招かれています（エペソ5:21-6:9）。それは主への献身になるのです（コロサイ3:23-24）。

【適用】

この箴言はしばしば「妻」に対してだけ当てはめられますが、主イエスの愛を受けている私たちにも当てはめられます。私たちの生活のどの領域において、主を恐れる知恵が献身という形で表わされる必要があるでしょうか？「知恵ある妻」を読めば読むほど、私は、このような理想的な妻には（夫には、人には）なれないと思うでしょう。しかし、主はそのような欠けだらけの私たちをも愛し用いてくださるのです。だからこそ、益々主への感謝の応答として、主の愛をもって家族や人々に仕えることを通して、主への献身を表していけるように祈りつつ歩んでいきましょう。

【祈り】下記の祈りの課題を覚えて祈りましょう（主に、週報から）。その他にも個人的な祈りの課題があれば、祈りましょう。＊皆さんに共に祈ってほしいということが何かありましたら、牧師までご一報ください。

ありがとうございました！

また来週、配信致します。

百合丘キリスト教会

川井信雄

（「祈禱会の時間です！」の受信をご希望の教会員の方には転送して下さい。その他、通常祈禱会に来て下さっている方にもどうぞ。その際、次回直接メールできるように、私にもCCして頂ければ感謝です。）